



開催協議会名	令和4年第3回雲南警察署協議会		
開催日時	令和4年9月29日（木）午後2時から午後4時まで		
出席者	協議会委員	7人（中祖会長、松浦副会長、伊藤委員、村尾委員、吉長委員、梶谷委員、糸原委員）	
	警察署	8人（署長、副署長、総務課長、生活安全課長、地域課長、三成広域交番所長、交通課長、警備課長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 飲酒運転根絶に向けた取組方策 2 優秀な人材の確保に向けた取組方策
		説明概要	関係課長が、諮問事項に関する現状、課題等について説明した。
		答申(意見等)	<ol style="list-style-type: none"> 1 飲酒運転根絶に向けた取組方策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 刑事罰等の更なる周知 安易な気持ちで飲酒運転をする人が多いと感じる。刑事罰や行政罰、社会的制裁について、さらに周知する必要がある。 (2) アルコール検知器の普及促進 アルコール検知器について、事業所のみならず、一般家庭にも普及させれば良いと思う。 (3) 子供・孫世代による注意喚起 学校等と連携し、子供たちに標語を作成してもらいなどして注意を喚起し、地域住民に広く啓発する。 2 優秀な人材の確保に向けた取組方策 <ol style="list-style-type: none"> (1) SNSの活用による魅力発信 若者世代はSNSを見ているため、SNSを活用した魅力発信が有効である。特に、警察官等になった動機や良かった点について発信すれば、理解が得られやすい。 (2) 堅くてキツイイメージの緩和 警察の仕事は堅く、また、24時間勤務というイメージが定着している。一方で、ど

		<p>のような人が働いているのかについては、関心が高い。勤務の内容や実際に働いている人について、もっと情報発信すれば良いと思う。</p> <p>(3) 警察職員の子供たちの獲得 大学のない地域で、大学卒を獲得するのは難しい問題である。まずは、警察職員が子供たちに採用試験を受験させるよう、努力すべきと考える。</p>
	委員からの意見・提言	<p>1 管内の犯罪情勢に関し 不用品買取のはずが、不用でない物まで業者に持ち帰られたという話を聞いたことがあり、不安を感じている。</p> <p>2 管内の交通事故情勢に関し 「飲酒運転100%なくし大使」の委嘱など、引き続き効果的な広報啓発活動を推進願う。</p>
視 察		警察署の道場において、逮捕術訓練を視察した。
委員からの感想		パトカーによる模範運転等により、地域の子供たちに警察の素敵な姿を見せてほしい。
そ の 他		なし。
写 真		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【会長挨拶】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【署長挨拶】</p> </div> </div>



【関係課長説明】



【協議状況】



【協議状況】



【視察状況】



【視察状況】



【視察状況】